

<2018年6月25日発表>

博多祇園山笠『十番山笠ソラリア』奉納・披露

～平安時代を生きた女武者と名古屋の繁栄を描きます～

- 西日本鉄道(株)では、2018年7月1日(日)から7月14日(土)までの期間中、当社が運営する商業施設「ソラリアプラザ」の1階イベント広場「ゼファ」にて、飾り山笠「十番山笠ソラリア」を奉納・披露いたします。
- 本年は、表(おもて)には女武者巴御前にまつわる物語を、見送(みおくり)には今年度開業予定の「西鉄ホテルクルーム名古屋」にちなみ、名古屋繁栄の礎をつくったといわれる徳川宗春を中心に城下町の賑わいの様子を描写しております。
- 表の標題...「巴御前(ともえごぜん)」
平安時代末期、木曾義仲(源義仲)の終焉の地である粟津ヶ原を舞台に、義仲に従軍した女武者巴御前の、激動の時代に翻弄されながらも義仲への思慕を貫いた物語を描きます。
- 見送の標題...「尾張名古屋保城(おわりなごやはしろでもつ)」
徳川家康が天下統一の最後の布石として築いた名古屋城は、現在も都市名古屋の象徴となっています。尾張徳川家第7代当主徳川宗春は城下に芝居小屋や娯楽施設をつくるなどして経済を活性化させ、現在に至る名古屋繁栄の基礎を作ったとされます。築城に際し、加藤清正が大石の上へ乗り、見物人に酒を振舞ったといわれる「清正の石引き」の様子と宗春が作り上げた城下町の賑わいを表現します。
- 屋内に設置する「十番山笠ソラリア」は、天候を気にすることなくゆっくりとご覧いただけ、毎年多くの来館者の方にお楽しみいただいております。また、福岡市博物館のご協力による「山笠歴史紹介パネル展示」も同時に開催いたしますので、ぜひソラリアプラザ1階イベント広場ゼファに足を運んでいただき、博多を代表する祭である博多祇園山笠の迫力をご鑑賞ください。

■ 2018年度博多祇園山笠 飾り山笠『十番山笠ソラリア』奉納・披露について

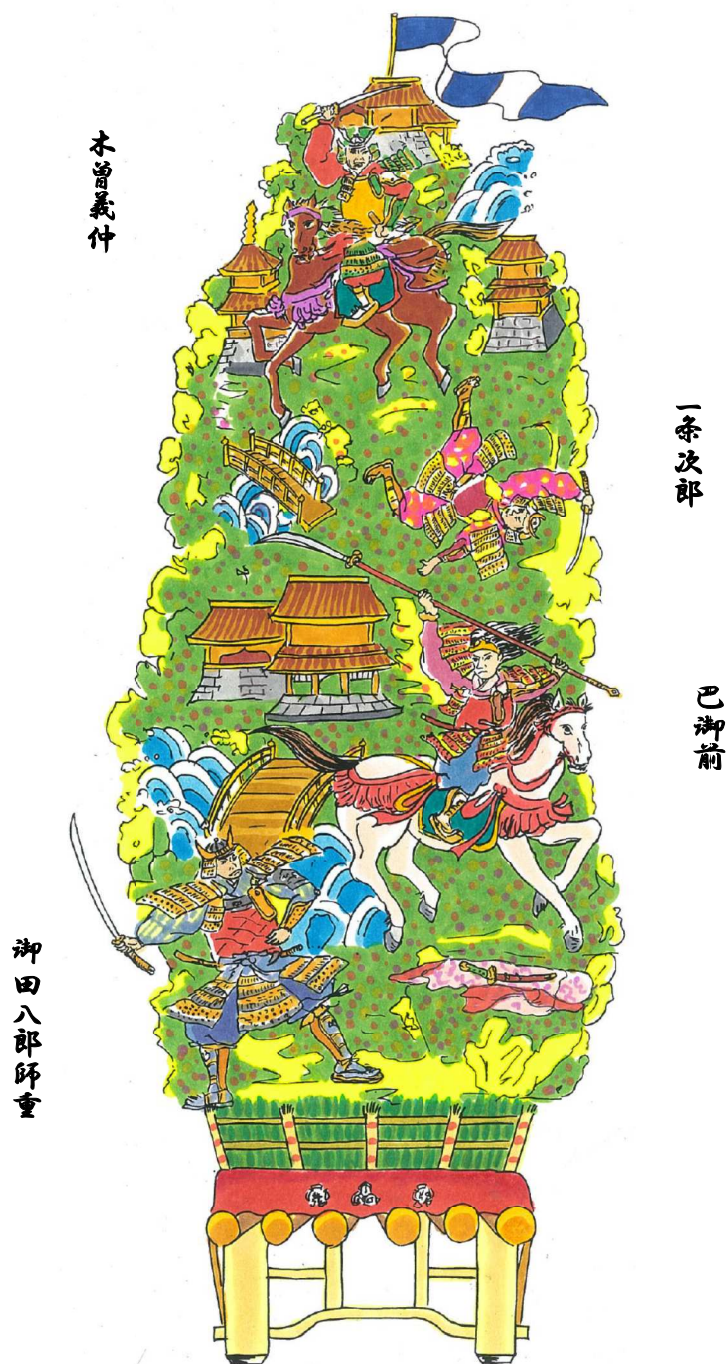
【スケジュール】	2018年6月26日(火)	棒締め
	6月27日(水)～30日(土)	飾りつけ
	7月1日(日)～7月14日(土)	飾り山笠披露
	7月1日(日) 11:00～	御神入れ
【場 所】	ソラリアプラザ1階イベント広場「ゼファ」(福岡市中央区天神二丁目2-43)	
【名 称】	「十番山笠ソラリア」	
【標 題】	表	:「巴御前(ともえごぜん)」
	見送	:「尾張名古屋保城(おわりなごやはしろでもつ)」
【製 作 者】	表	:博多人形師 置鮎 正弘(おきあゆ まさひろ)氏
	見送	:博多人形師 小嶋 慎二(こじま しんじ)氏
	山大工棟梁	:日高 保行(ひだか やすゆき)氏
【その他イベント】	山笠歴史紹介パネル展示(協力:福岡市博物館) 〔展示場所〕ソラリアプラザ1階イベント広場「ゼファ」 〔展示期間〕2018年7月1日(日)～14日(土)	

表：「巴御前 (ともえごぜん)」

巴御前は木曾義仲 (源義仲) の平氏討伐に従軍した平安時代末期の女武者で、都落ちした主人義仲の最後の合戦まで生き残るも、末期までの同道を辞し生き延びるよう義仲から諭され、最後の奉公と敵将御田八郎師重と馬上で組み合い、最後には首をへし切り木曾に落ちたとされます。

謡曲「巴」では義仲終焉の地である粟津ヶ原に幽霊となった巴が現れ、居合わせた僧侶に義仲の供養を請います。演目の最後に巴は義仲から末期に授かった守り刀と小袖を抱き消える姿が描かれ、激動の時代に翻弄されながらも思慕を貫いた女性として描かれています。

登場人物：巴御前、木曾義仲、一条次郎、御田八郎師重



見送：「尾張名古屋保城（おわりなごやはしろでもつ）」

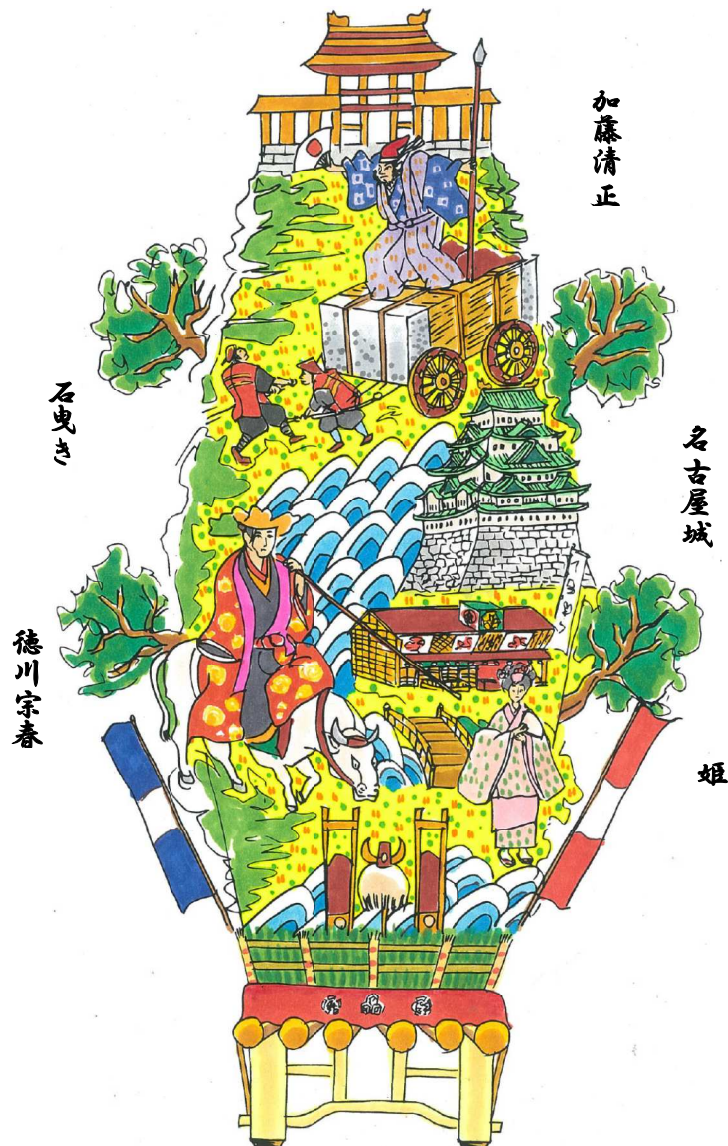
名古屋城は、徳川家康が天下統一の最後の布石として築いた城で、現在に至るまで都市名古屋の象徴として全国に知られ、伊勢音頭に「尾張名古屋は城でもつ」と詠われています。

築城は慶長15年（1610年）閏2月下旬から始まり、積み始めから3か月も経たない8月に加藤清正が天守台を完成させました。清正は、美しく着飾った小姓とともに大石の上に乗れり、綱引きの人々をはやし立てて見物人に酒を振る舞ったと伝えられ、「清正の石引き」として知られています。

城下の賑わいは尾張徳川家第7代当主徳川宗春が作り上げたとされる。宗春は『温知政要』を著し、時の8代将軍徳川吉宗の緊縮政策を否定して、城下に芝居小屋や遊郭など、娯楽施設をつくる許可を出し、自らも白い牛に乗り長さ二間（約3.6m）ものキセルをくゆらせ歌舞伎や能の役者姿で城下に現れるなど、市場主義経済を民衆の前で体現しました。

「名古屋の繁栄に京（興）がさめた」とまで言われるほど経済を活性化させ、現在に至る名古屋繁栄の基礎を作ったとされます。名古屋城の現天守閣は、現在の鉄筋コンクリート製から本来の木造に建て直すため、2018年11月から解体を始め、2022年12月に竣工の予定です。

登場人物：加藤清正、徳川宗春、石曳き、姫



本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(Tel:0570-00-1010)まで